

2 プランの施策体系




取り組みの方向性		主な取り組み
1	生きがいづくりに取り組む	<ul style="list-style-type: none"> ① 老人クラブ活動の推進 ② 高齢者のスポーツ活動の普及・啓発 ③ 町田市シルバー人材センターの会員の確保 ④ いきいきポイント制度の普及 ⑤ 多世代が交流できる場づくりの推進
2	介護予防・健康づくりに取り組む	<ul style="list-style-type: none"> ① 保健事業と介護予防の一体的な推進 ② 「町し」の推進 ③ 自主グループ活動の推進 ④ 介護予防サポーターの養成 ⑤ 要支援者等の生活機能改善のための助言 ⑥ 短期集中型サービスの実施
3	地域での支えあいに取り組む	<ul style="list-style-type: none"> ① 高齢者支援センターと関係機関との連携強化 ② 地域ケア会議による課題解決機能の強化 ③ 生活支援団体の活動の推進 ④ 移動支援の推進 ⑤ まちだ互助助クラブの推進
4	高齢者の安心した暮らしの実現に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> ① 高齢者見守り支援体制の充実 ② あんしんキーホルダーの普及 ③ 災害時のための介護サービス事業所等との連携強化 ④ 災害時における高齢者の迅速かつ円滑な避難の確保 ⑤ 成年後見制度の利用支援 ⑥ 高齢者虐待の防止 ⑦ 高齢者を守るための防犯意識づくり
5	住まいと生活の支援に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> ① 養護老人ホームへの入所支援 ② 高齢者への居住支援の推進 ③ 器具乾燥消毒事業の実施 ④ 高齢者在宅訪問理美容券の交付 ⑤ 住宅改修・福祉用具アドバイザーの派遣 ⑥ 高齢者の安全運転意識の向上
6	「認知症とともに生きるまち」の実現に向けて取り組む	<ul style="list-style-type: none"> ① D カフェの実施 ② 認知症とともに生きるまちづくりワークショップの実施 ③ 認知症について考える「普及啓発イベント」の実施 ④ 16のまちだアイ・ステートメントの普及 ⑤ 認知症サポーターの活動支援
7	認知症の人とその家族の支援に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> ① 認知症相談の実施 ② 認知症の早期受診支援(認知症初期集中支援チーム事業) ③ 認知症の人の家族等への支援 ④ 行方不明高齢者の捜索支援
8	医療と介護の連携に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> ① 「町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト」の推進 ② 「医療と介護の連携支援センター」による地域ケア会議の開催 ③ カスタマーハラスメントに対する対応能力の向上
9	家族介護者の支援に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> ① 家族介護者教室や家族介護者交流会の開催 ② 市民向け介護講習会の開催
10	介護人材の確保・育成・定着に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> ① 介護人材開発センターによる介護人材の確保 ② 介護の資格取得支援 ③ 中核となる専門人材の育成・定着
11	介護施設等の整備に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> ① 在宅生活を支える地域密着型サービスの充実
12	介護サービスの品質向上に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> ① 要介護度改善に向けた介護サービス事業者の取り組み促進 ② 介護サービス相談員の派遣 ③ デジタル技術を活用した介護認定事務の効率化 ④ 指定申請等に関する文書負担の軽減 ⑤ 介護現場における生産性の向上
13	適切な介護サービスの提供に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> ① 認定調査の平準化(要介護認定の適正化) ② ケアプラン・住宅改修・福祉用具の点検 ③ 介護報酬請求の適正化(医療情報との交合、縦覧点検)

町田市いきいき長寿プラン24-26

② 各種調査の結果から読み取れる高齢者等の声


プランの策定において大切なことは、当事者などの声を聞き、そのニーズを把握することです。高齢者や介護保険事業所等への調査の結果からは、以下のような声を読み取ることができました。

【高齢者の声】
～高齢者を対象とした調査より～




- 生きがいをもって暮らしたい。
- 地域の活動についてもっと知りたい。
- 何かあった時に一人だと不安だ。
- 困りごとをまとめて相談したい。
- 自宅で暮らし続けたい。
- 介護をしてくれる家族に負担をかけたくない。
- よりよい介護サービスを受けたい。
- 認知症になってもこれまでと変わらずに暮らし続けたい。

【家族の声】
～在宅療養をする高齢者と主な家族介護者への調査より～



- 仕事と介護を両立したい。
- 家族が認知症になった時が不安だ。

【事業所の声】
～介護保険事業所を対象とした調査より～




- 十分なサービスを提供するために、必要な職員を確保したい。
- 資格取得を後押しするなど、職員を確保するための方策を実施したい。
- 利用者のために医療・介護連携をスムーズに行いたい。
- 社会資源を活用しながら、より良い介護サービスを提供したい。

(4) 地域ケア会議の意見

町田市では、医療・介護の専門職、福祉関係者、民生委員・児童委員、警察・消防関係者などの関係者が集まり、それぞれの知識や経験を活かすことで、高齢者が抱える個別の課題を解決するための話し合い(地域ケア会議)を行っています。この会議により、関係者の視点から見た地域ごとのニーズの傾向性や町田市全体でのニーズが見えてきます。

関係者から見たニーズ



【高齢者の社会参加に関すること】

- 通える範囲で体を動かしたり、趣味を楽しめる場が必要です。
- 高齢者が活躍できる場が必要です。
- 地域住民が多世代で交流できる場が必要です。

【生活支援に関すること】

- 支援が必要な時の相談先の周知が必要です。
- お店があっても坂が多くて、買い物に行けないという声があります。
- 体の機能が低下した高齢者の外出が難しいことがあります。

【高齢者の見守りに関すること】

- 介護予防や見守り、生活支援のボランティア育成が必要です。
- 地域貢献の場を求めている事業者や高齢者と、地域のニーズのマッチングが必要です。
- 地域で見守りや助け合いを行うためのネットワークづくりが必要です。

【認知症支援に関すること】

- 認知症は早期受診をして支援につなげることが必要です。
- 若年性認知症*の人には就労や就労継続等の支援が必要です。
- 判断能力が低下した場合等のために、あらかじめ成年後見制度等があることを周知しておく必要があります。

【在宅療養に関すること】

- 在宅療養を地域で支える体制づくりが必要です。
- 在宅療養に携わる医療職や介護職へのカスタマーハラスメントが問題になっています。

地域ケア会議の意見

- 高齢者が活躍できる場が必要。
- 生活上の支援を必要とした時の相談先の周知が必要。
- 地域で高齢者を見守るネットワークづくりが必要。
- 認知症の疑いがある人などを早期に支援につなげることが必要。
- 在宅療養を地域で支える体制づくりが必要。

【関係者から見たニーズ】

- ・ 認知症は早期受診をして支援につなげることが必要です。
- ・ 若年性認知症の人には、就労や就労継続等の支援が必要です。
- ・ 判断能力が低下した場合等のために、あらかじめ成年後見制度等があることを周知しておく必要があります。

資料4-2のとおり、町田市いきいき長寿プラン27-29策定に向け、地域ケア会議、本人の会（認知症当事者が集まる会）、地域の様々な活動から、認知症支援に関するニーズを抽出し、現状の課題を整理しました。

- ①新しい認知症観（認知症のイメージ）
- ②本人の集い、相談の場
- ③家族、介護者の支援、相談、交流
- ④社会参加推進、やりたいことチャレンジ
- ⑤認知症サポーター活動
- ⑥早期受診、早期発見
- ⑦本人の意思決定支援

認知症支援に関して整理した分類について、お気づきの点がございましたら、ご意見をいただきたい。